

# 和納小CS通信 わなみ

## 第1回 学校運営協議会報告

6月19日(金)に令和8年度第1回学校運営協議会を開催しました。本年度の和納小学校教育ビジョンと学校評価、学校予算、和納ふれあいウォーク、その他について協議が行われました。  
 ※コミュニティ・スクール(CS)とは、学校運営協議会を設置した学校のことです。

令和8年度和納小学校 学校運営協議会委員名簿		(敬称略)	
委員名	所属・役職	委員名	所属・役職
会長 福島 實	学識経験者	委員 竹内 孝子	岩室地区民生委員主任児童委員
副会長 佐藤 愛知	和納小学校 PTA 会長	委員 千葉 生恵	和納小学校 PTA 副会長
委員 田中 隆男	岩室地域コミ協副会長 和納地区自治会会長	委員 熊倉 了子	岩室中学校教頭
委員 堀澤 真一	和納小学校後援会長	委員 大矢 和憲	和納小学校校長
委員 石田 伸一	野きろの杜代表	委員 船越 朗	和納小学校教頭
委員 坂田美津江	和納保育園園長	委員 山際奈穂子	和納小学校教務主任
委員 川邊 素子	岩室地域児童館館長	事務員 海津 由美	和納小学校地域教育コーディネーター
委員 永塚 健	Ken Product Design 代表		

運営委員 13名、CS 事務員 出席 1名欠席  
 助言者：新潟市教育委員会生涯学習推進課指導主事2名、西蒲区教育支援センター指導主事 会場：会議室

## 第1回 学校運営協議会 報告

### (1) 令和8年度 和納小学校 教育ビジョンについて

#### ① 重点を置いて育む資質・能力(三本柱)

- ・学ぶ力：自分で・自分のために・自分らしく勉強する力
- ・かかわる力：いろいろな人と良い関係を築くための力
- ・向上心：挑戦する、やってみる、目標を立てて頑張る力

#### ② 取り組み例

- ・【学ぶ力】「聴き方」の指導における工夫  
家庭学習の充実に向けた計画
- ・【かかわる力】わなみ班活動(異学年集団) わなみ班遊び
- ・【向上心】全校体力テスト、マラソン記録会等



#### <協議での主な意見>

- ・聴く力の低下（YouTube 等の影響）は、小・中・保育園共通の課題。
- ・地域活動・和納ふれあいの日が学力向上にもつながるよう協力して実施。

#### (2) 令和8年度 学校評価（指標）について

- ・重点項目である三本柱に対し、指標・手立てを設定。学校評価の全体計画として児童・保護者・職員のアナケートを総合的に実施する。

#### (3) 学校予算について

- ・給食費：令和8年度は小学生は無償。
- ・配当予算：昨年より 186,000 円増（ただし校舎修繕費は予算不足）



協議会の様子

#### <資金調達に関する意見>

- ・企業スポンサーやふるさと納税型クラウドファンディングの活用などを考えてみるのはどうか。
- ・学校独自の金銭授受には制約あり。行政主導の仕組みづくりが必要との認識を共有。

#### (4) 「和納ふれあいの日」和納ふれあいウォークについて

- ・実施日： 11月6日（金）

異学年班でコースを選択し、地域の施設・事業者を訪問して体験活動を行う

ねらい：「かかわる力」の育成、ふるさと和納への愛着の醸成、地域教育力の活用

- ・当日までのスケジュール（案）

7月中：コース候補検討・訪問先交渉

8月上旬：コース確定・職員担当決定

8月25日（火）午後：CS委員と教職員の合同打ち合わせ・下見

9～10月：準備・事前学習

昨年度ふれあいウォークより



#### <コースに関する協議内容>

- ・食物アレルギーへの対応：事前に訪問先の内容を把握し保護者・児童に周知する体制が必要。
- ・子供が知らない、見えていない身近な場所（草花火製造現場、近隣事業者等）を訪問することで地域への愛着を育む趣旨を共有。
- ・新規コース候補リサーチを CS 委員・コーディネーターで継続実施。
- ・複数年かけて地域の全施設を巡る仕組みも選択肢として提案。

#### (4) その他

- ・今後の学校運営協議会日程を確認

#### CS が願う「地域で育てたい子ども」の姿

- 進んで地域にかかわり、ふるさと和納への誇りや愛着をもつ子ども
- 自分の「よさ」を進んで伸ばし自主・自律する子ども

今後とも保護者・地域の皆様方のご支援を賜りますようお願いいたします。

